• 第15回

日時:昭和61年6月7日(土) 14:00~17:00

出席者: 7名

場所:八丁堀 東京都勤労福祉会館

講師とテーマ:小島光造(技術研究家)「日本の伝統に

ついて」

21世紀の日本人の行動のパターンはどうなるかを研究の動機として「日本の伝統について」考えてみた。山本七平氏の言う「さまよえる日本人」は本当にいつもそうなのか。「甘えと情」「日本文化の生きざま」「創造の文化」「日本語」「日本人の風習」からシステム分析をし「日本は文明先進国である」と結論をされた。



国際連合地域開発センター 和 泉 潤

現在勤務している国際連合地域開発センターは、国際連合の専門機関として15年前に名古屋市に設立されました。設立の目的は、開発途上諸国内での地域開発計画の策定とその実施能力を啓発することが上げられており、これにしたがって、研修、調査研究、助言活動、情報交流の4部門から、より実際的な地域開発に貢献すべく活

動を展開しております。ORとかかわりの深い調査研究部門では、開発途上諸国の地域開発で直面する諸問題をとりあげ、それぞれの国の実態を最も的確に反映するために開発途上諸国のすぐれた専門家や研究機関と協同で、開発計画手法、開発政策課題の2分野から実証的な調査研究を行なっています。この調査研究の一環として数多くの国際セミナーや専門家会議が開催されています。今年の大きな国際セミナーとして、9月24日から1週間名古屋、静岡、東京と会場を移動して、地域防災国際会議が開催されます。開発途上国等から40名程の行政マン学識経験者が参集し、日本からの参加者を含めて、地域開発計画と防災について活発な議論を展開する予定です。

会合記録

. ()内は出席者数

庶務幹事会 6月5日(木)(9)編集委員会(OR誌)6月11日(水)(9)普及小委員会 6月18日(水)(7)

研究普及委員会 6月23日(月)(10) 国際委員会 6月24日(火)(6) 編集委員会(JORSJ)6月25日(水)(6) OA委員会 6月26日(木)(3) IAOR委員会 6月27日(金)(5)

編集後記▶AHPが当学会の公式の場で紹介されて1年近くたちました。今回、タイムリーに、AHPの生みの親サーティ教授はじめ会員の協力により多方面にわたる応用事例の紹介を行なうことができました。AHPに限らず、Karmarker 法のようなホットニュースもできるだけ早く特集を組んでいく予定でいます。乞、ご期待。▶さて、生みの親より育ての親と言いますが、QCと同

じく日本ではより多くの人たちに受け入れられ役に立つ のではないでしょうか. そのためにも, OR学会として 単にムードに流されるのではなく, AHPを通して意思 決定支援を考えていく必要がありそうです. サーティさんは, 8月に国際会議のため来日しようか, 南ア共和国 からの招待(紛争解決のため)を受けようかの選択に悩んでいるそうです. (S)

オペレーションズ・リサーチ

昭和61年8月号 第31巻 (新シリーズ第11巻) 8号 通巻308号

代表者 近藤次郎 発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都文京区弥生 2 - 4 - 16 学会センタービル

(電話 03-815-3351~2) **〒** 113

編集人 柳井 浩

発 売 所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒 151

• 本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ

定価 850円 (郵送料含) 年間予約購読料 9600円 (郵送料含)

●本誌への広告お申し込みは明報社 (571-2548), 日経弘報社 (563-2241) へ